

春季展 「富岡鉄斎展」

今回の春季展では「老たん度閑・陸羽煮茶図」を始め、茶道の始祖とされる唐の陸羽を題材にした作品や、昔話などで知られる一休和尚の逸話を描いた「一休蓮如問答図」など、独特のタッチで描かれる鉄斎の味わい深い作品をご覧くださいと思います。

主な展示品

- 鉄斎作品 34点
掛軸・扇子・器玩・額装・画帖・書翰



陸羽煮茶図(りくうしゃさず) 142.3cm×51.2cm 絹本着色

明治40年、鉄斎72歳の作品。
唐の陸羽は字(あざな)は鴻漸(こうぜん)、自ら桑苧翁(そうちよおう)と号した。捨て子であったが、ある僧に拾われて養われ、刻苦の末、士官(史官)となる。後に隠居し、門を閉じて著述にふけた。特に茶の起源、製茶法や、その点て方、飲み方などを述べた「茶経」が有名で、後世、煎、抹両方の茶祖、茶神として崇拝された。鉄斎は若い頃から煎茶に親しみ、生涯多くの陸羽像を描いている。この図は陸羽が茶を煮る景。賛はその略伝を記す。

開催概要

展覧会名称	春季展 「富岡鉄斎展」
期間	平成27年3月28日(土)～5月6日(水・振替休日) 10:00～16:30(入館は16:00まで) (前期3/28～4/19、後期4/21～5/6)
入館料	一般200円 敬老・大学生100円 高校生以下無料
休館日	月曜日(但し5/4は開館)
交通	辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分 JRさくら夙川駅より徒歩7分 阪急電車夙川駅より徒歩10分

夏季教室展 器の考古学

考古学にとって基本となる資料に土器があります。原料あるいは使われ方・つくり方など、すべてが身近なものであるため、時間の移り変わりや地域性をとらえる指標として扱われてきました。今回の展覧では、当館が所蔵するあらゆる時代から土器を並べ、その違いを見比べていただきます。その移り変わりや変化を考えながらご覧ください。

主な展示品

- 深鉢(茨城県 海老沢)
- 注口土器(青森県 十腰内)
- 甕(兵庫県 大阪空港A遺跡)
- 横瓶(兵庫県 剣坂古墳)
- 達盤(伝 中国河南省濬県) ほか



深鉢



甕





瓶

[パンフレットはこちらから](#)

開催概要

展覧会名称	夏季教室展 「器の考古学」
期間	平成27年6月13日(土)~8月30日(日)
開館時間	10:00~16:30
入館料	一般200円、敬老・大学生100円
休館日	月曜日(7/20は開館し、7/21を休館とします)
交通	辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分 JRさくら夙川駅より徒歩7分 阪急電車夙川駅より徒歩10分

辰馬考古資料館

公益財団法人 辰馬考古資料館
〒662-0962 兵庫県西宮市松下町2-28
TEL&FAX 0798-34-0130
tatsu-kouko@syd.odn.ne.jp

辰馬考古資料館

平成27年度

秋季展 「水野正好先生と辰馬考古資料館」

平成27年1月27日に逝去された水野正好前館長を偲ぶ企画展示とします。水野先生が手がけていたテーマの中でも、当館所蔵品を議論の基礎に置いていた資料やゆかりの品を出品いたします。

主な展示品

- 土偶(青森県 亀ヶ岡遺跡)
- 袈裟襷文銅鐸(滋賀県 大岩山 出土)
- 「景初四年」銘鏡(出土地不詳)
- 石仏拓本(加西市古法華山) など 約40点(予定)



遮光器土偶(しゃこうきどぐう)



袈裟襷文銅鐸(けさだすきもんどうたく)



[パンフレットはこちらから](#)

開催概要

展覧会名称	秋季展 「水野正好先生と辰馬考古資料館」
期間	平成27年10月3日(土)～11月29日(日) (開館は午前10時から午後4時30分。入館は午後4時まで。)
入館料	大人200円、大学生100円、高校生以下無料 (ただし、11月14日(土)・15日(日)は「関西文化の日」として無料で見学できます。)
休館日	月曜(10/12・11/23は開館し、翌日を休館日といたします)
講座	10月24日に学芸員による展示解説を行います。 11月14日に講演会を開催いたします。
交通	辰馬考古資料館へは、阪神電車香櫨園駅より徒歩2分 JRさくら夙川駅より徒歩7分 阪急電車夙川駅より徒歩10分